学校番号	1011

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	「改訂版　生物基礎」　（数研出版）						
副教材等	「三訂版リードLightノート生物基礎」「改訂版リードLightノート生物」　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生物系・農学系・医療看護系進学をめざす人が受講する授業です。この授業内で扱いきれない演習問題は「生物演習」の授業で扱うので必ず合わせて受講してください。
・生物や生命現象について学びます。生物基礎の知識に基づく見方や考え方を身に付け、日常生活に活かしてください。さらに、「生物」を学ぼうとする人の基礎となる内容を学びます。学習を通して科学的な知見や感性を養ってください。
・予習は可能な範囲で構いませんが、授業内でわからないことがあれば担当者へ確認してわからないままにしないことと、丸暗記ではなく理論的に理解し問題集を活用すること等、継続的な日々の復習は必要です。

２　学習の到達目標

・生物基礎の基本的な概念・原理・法則を理解する。
・観察、実験などを行い、なぜそのような現象が起こるか・なぜそのような結果が得られたのかについて考えて検証することで科学的に探究できる。
・日常生活や社会と生物基礎の関連事象を学びながら生物・生物現象への関心を高めようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生命現象について、基本事項や、また観察・実験に関する事項について理解しているとともに、観察・実験の基本操作や技能を身に付けている。	生物や生命現象の中に問題を見出し、見通しをもって観察・実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	日常生活の中に生物や生命現象に関わる事物・現象に主体的に関わり、意欲的・科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 光合成と呼吸	a:植物細胞と動物細胞、原核細胞と真核細胞、それぞれの特徴、代謝に伴いエネルギーが変換されていること、代表的な代謝として光合成と呼吸について理解する。 b:多様性と共通性の観点から細胞の構造や様々な代謝を捉え、特徴をまとまられる。 c:多様性と共通性という２つの視点が生物の学習上重要であることに気づき、意欲的に探究しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト 観察・実験 レポート	授業準備 取り組み 姿勢 提出ノート 観察・実験 レポート
2学期	遺伝子とその働き	遺伝情報とDNA 遺伝情報の発現 遺伝情報の分配	a:ＤＮＡの塩基配列を基にタンパク質が合成される過程を理解できる。 b:遺伝情報がどのように保持され、遺伝情報をどのように正確に複製するのか、考察できる。 c:塩基の相補性に着目したＤＮＡ模型を製作しようとしている	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト 観察・実験 レポート	授業準備 取り組み 姿勢 提出ノート 観察・実験 レポート
3学期	植生の多様性と分布	植生とその成り立ち 植生の遷移 気候とバイオーム	a:植物と環境との関りで、場所場所の植生が決まり、動物も決まり、また遷移も進むことが理解できる。 b:環境の変化による植生の違いを発表できる。 c:特に、日本の植生の水平分布図を製作しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト 観察・実験 レポート	授業準備 取り組み 姿勢 提出ノート 観察・実験 レポート
	生態系とその保全	生態系とその成り立ち 物質循環とエネルギーの流れ 生態系のバランスと保全	a:環境と生物のまとまりである生態系と、その内部における様々な働きを理解できる。 b:あらゆる生態系における物質循環を発表できる。 c:特に生態系の保全について理解しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト 観察・実験 レポート	授業準備 取り組み 姿勢 提出ノート 観察・実験 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度